

銭坂邸 見学会



七日市場コミュニティセンターの前、たくさんの木々に囲まれて建つ古い民家は、銭坂八郎さんのお住まいです。江戸時代中期に建てられ、築300年にもなるそうです。

ご事情によりこの9月に取り壊しをすることが決まり、まもなく工事が始まる予定です。 *

江戸時代には庄屋を務めていたこともあり、先代の藤七さんが収集し残していた数多くの資料や古文書は既に安曇野市の文書館に寄贈されています。

また8月7日には、「歴史の会」会長の曾根原孝和さんからの要請を受け、古民家を研究されている信大の先生と学生による学術調査が行われます。

長い歴史を持つ民家がなくなることは残念ですが、解体される前に古い民家や昭和の時代に関心のある方々に家の中を見せていただくことにしました。

銭坂さんの快い承諾を得ましたので、下記の日程で見学会を開きます。

- ・ 日 時 : 8月11日(日) 午前9時 コミュニティセンター前に集合／事前の申込は不要です。飲物は各自ご用意ください。
- ・ 講 師 : 銭坂八郎さん (1時間くらいを予定)
家の内外の説明と、子どものころ(戦前から戦後にかけて)の、七日市場地区の暮らしの様子や地域で起きた様々な出来事のお話しをしていただく予定です。
家の入口を入ってすぐ右側が馬屋になっています。
昔は家の中で農耕馬を飼っていたそうです。
また、写真を撮りたい方はご自由にどうぞのことです。

* 4月の地区回覧文書で、敷地の宅地開発と業者の開発事業説明会が通知されています。

見学会、またはCafe718についてのお問い合わせ

・3-3 加藤

・電話 : 77-5256

留守電になることがありますので、

裏面もご覧
ください

銭坂 八郎 様

◇ 見学会で参加者にお話しをしていただきたい内容

先日お伺いした際にいろいろとお聞きした話しは、初めて知ることばかりでとても新鮮で興味深いものでした。見学会に来られた人たちにも、是非お聞かせしたいと思います。

話しの内容は銭坂さんにお任せいたしますが、参考にこんな話しが聞けたらというものを挙げてみました。(これを全部という事ではありません)

家屋について

- ・ 家の構造や建てられた時代
- ・ 基礎の造り、屋根や棟の構造、壁の材料など
- ・ 家の中での暮らしについて（例：家の中で馬と一緒に生活していた、など）
- ・ 代官との折り合いが悪く、元の場所から解体して今の場所に移築した
- ・ その他

生活について

- ・ どの様な生活だったか(明治～戦前戦後の暮らし、食糧事情や衣服について)
- ・ エアコンのない時代、夏や冬の暑さ寒さのはどの様にしのいでいたか
- ・ 蚕を飼っていた様子
- ・ その頃の農家の暮らしや文化、お祭りなどの様子
- ・ 諏訪神社の社務所ができる前の話し（銭坂さんの家を社務所の代わりにしていた）
- ・ 戦争中の話し—①墨をたくさん磨らされ、家の屋根塗らされたこと
②島々地区の松の木を全部切り、それから油を採ったこと
そのせいで大水が出て、家が流されたこと 等々
- ・ 先代藤七さんの古文書収集、歴史の研究について
- ・ その他

地域について

- ・ 江戸時代や、戦前戦後の七日市場の様子
- ・ 近隣地区との水利の調整や堰の管理
- ・ 庄屋としての仕事
- ・ その他

以上、たくさん書いてしまいましたが、銭坂さんのお話ししたいことを主に取り上げていただければと考えております。

よろしく願いいたします。 3-3 加藤 崇雄